



環境

スポーツGOMI
拾い大会
in鬼怒川

▽日時 7月2日(日)午前10時～11時。9時30分～受け付け。小雨決行。
▽会場 道場宿緑地(道場宿町)付近河川敷。
▽内容 ゴミの質と量をポイントで競い合うチーム対抗の河川清掃活動。
▽対象 市内に在住か通勤通学している人。1グループ3～5人。小学生以下は保護者同伴。
▽定員 先着100人。
▽申込 6月5～23日に、直接または電話・ファクス・Eメール(グループ名、参加人数、代表者の住所・氏名・ふりがな・電話番号・年齢・メールアドレス

レスを明記)で、河川課(632)2689、FAX(632)5370、✉u1609@city.utsunomiya.tochigi.jp。
▽その他 上位入賞チームには賞品、参加者には参加賞があります。

自然と触れ合う
ホテル観察会

1 ホテルと夜の生き物観察会(文化の森自然観察会)
▽日時 6月10日(土)午後7時～9時。雨天中止。
▽会場 うつのみや文化の森(長岡町)。
▽内容 ホテルと夜の生き物を観察。
▽定員 先着40人。
▽費用 50円(保険料)。
▽申込 6月6日午前9時から、電話で、宇都宮美術館(643)0100へ。
2 梵天の湯でほたる観察会
▽日時 6月17～25日、午後8時～。雨天中止の場合あり。
▽集合場所 梵天の湯正面玄関前(今里町)。
▽その他 温泉をご利用の場合は事前に済ませ、歩きやすい靴でご参加ください。
問 梵天の湯(674)8963

暮らしの中に「もったいない」を
6月は環境月間 6月5日は環境の日

宇都宮には、古き良き歴史や水や緑などの豊かな環境がたくさんあります。環境月間をきっかけに、暮らしの中に「もったいない」を意識した行動を、小さなことでも取り入れてみましょう。

人やものやまを大切に
もったいない運動

環境に優しいまちづくりのため、本市では独自の取り組みとして「人やものやまを大切にすること」を日常生活と結び付ける「もったいない運動」を進めています。また、「もったいない」を行動に移すきっかけとして、環境学習センターではさまざまな講座を開催しています(27ページ参照)。

「ひと・もの・まを大切に
もったいない」3つの約束

1 「ひと」 「もったいない」には、物をいとおしむという気持ち以上に、感謝と尊敬、親しみの

3 まち 宇都宮は豊かな自然に恵まれ、多くの生き物が生息・生育しています。身近な自然を知ること、私たちの暮らしを支える「生物多様性」の大切さに気付き、「生物多様性」を守ることにつながります。自然と触れ合い、守り育て、本市の豊かな自然環境を次の世代に引き継いでいきましょう。

心が込められています。さまざまな場面で「ひとへの思いやり」を大切にして、行動することが重要です。



2 もの 本市では、まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物のごみを減らす運動である「もったいない残しま10!」運動を実施しています。「残しま10!」を合言葉に、料理の食べ切りや食材の使い切りなどを意識してみま

問 環境政策課(632)2417、環境保全課(632)2405

知らないなんてもったいない
うつのみやの身近な自然



オオタカ

鬼怒川

長岡湿地周辺

シルビアシジミ

トクキョウサンショウウオ

カワラノギク

◎天文台で星を観察しよう ▽日時 6月3・17日(土)、午後7時～9時▽会場 田原中学校(下田原町)▽内容 木星、土星、春から夏の星座、渦巻銀河(M49・104)などの天体観望会▽その他 詳しくは、河内星の子会☎090(4954)6261へお問い合わせください。問 田原中学校☎(672)0008

本文中に記載がないものは、原則として、対象外となる。費用は無料。申込不要(定員の記載があり申込の記載がないものも、当日、直接会場へ)。HP 〓ホームページ、✉ 〓Eメールアドレス、区 〓地区市民センター、田 〓出張所、運 〓生涯学習センター、参 〓うつのみや表参道スウェーデン、コ 〓地域コミュニティセンター、活 〓市民活動センター

梨農家の おうちでものびんご

▽日時 7月2日(日)午後2時～3時30分。

▽会場 東図書館(中今泉3丁目)。

▽内容 山口幸夫さん(県農業士)による、梨農家の取り組みや6次産業化についての講演会。

▽定員 先着50人。

▽申込 6月7日午前9時30分から、直接または電話で、東図書館☎(638)561

4へ。

緑のある生活を 緑化講習会

1土づくり 花と野菜を育てる

▽期日 6月17日(土)。

▽定員 先着30人。

▽費用 500円(材料費)。

2夏の寄せ植え

▽期日 7月2日(日)。

▽定員 先着30人。

▽費用 1500円(材料費)。

3親子で作る種団子

▽期日 7月9日(日)。
▽定員 先着30人。
▽費用 800円(材料費)。
■時間 午前9時30分～11時30分。
■会場 八幡山公園事務所別館(埴田5丁目)。
■対象 市内に在住か通勤通学している人。
■申込 6月2日から、電話で、緑のまちづくり課☎(632)2597へ。
■その他 身近な回や集会所などで開催する緑化講習会へ講師を派遣していただきます。

北海道小北樹林地で 自然を学ぶ

1平地皆伐再生林10周年記念報告会

▽日時 6月17日(土)午前9時～午前10時、午前11時～3回。
雨天の場合は現地で開催の可否を決定。

▽内容 北海道小北樹林地ボランティアによる、樹林地皆伐と再生についての成果報告。

2スズムシの無料配布および交換会
▽日時 7月1日(土)午前9時～正午。雨天決行。
▽内容 スズムシの無料配布(先着20人)とスズムシ交換会。
■会場 北海道小北樹林地海道町)。
■申込 6月5日から、電話で、グリーントラストうつのみや事務局(緑のまちづくり課内)☎(632)2559へ。

7月の環境学習講座

▽日時・内容など 下の表の通り。

▽会場 ①環境学習センター集合②～⑨環境学習センター⑩田原中学校。

▽申込 往復はがきの往信に、希望講座名(⑥は午前の部・午後の部)、住所、参加者全員の氏名・電話番号・④～⑩は学年を、返信に郵便番号・住所・氏名を書き、①②6月15日まで③～⑩6月30日まで(消印有効)に、〒321-0126 茂原町777-1、環境学習センターへ。複数講座に申し込み可。はがき1枚につき1講座(①3人または1家族まで②2人または1家族まで③3人まで④～⑩1家族まで)。

▽その他 定員に満たない時は、締切日の1週間後の午前9時から電話で受け付け。

☎環境学習センター☎(655)6030

講座名・内容	日時	定員・費用など
①足尾の光と影を調べる 足尾環境学習センター・足尾歴史館(日光市)で、足尾の歴史を学ぶ	7月8日(土)午前9時～午後4時30分	抽選40人 中学生以下は保護者同伴 入館料など(実費)
②クリーンパーク茂原できのこを探そう きのこ探しと観察	7月9日(日)午前9時30分～正午	抽選40人
③生物多様性連続講演会 第6回「水の中の多様な生きものたち」と題した講演会	7月22日(土)午後1時30分～4時	抽選50人
④手作りの顕微鏡でミクロの世界を見る キットを利用して、自作の顕微鏡(150倍)を組み立て観察(小学校低学年向き)	7月23日(日)午前9時30分～11時30分	抽選20組 小学生とその保護者 950円(材料費)
⑤手作りの顕微鏡でミクロの世界を見る キットを利用して、自作の顕微鏡(300倍)を組み立て観察(小学校高学年向き)	7月23日(日)午後1時30分～3時30分	抽選20組 小学生とその保護者 2,160円(材料費)
⑥クリップモーターを作ろう クリップモーター作りと、家庭での節電や安全な電気の使い方を学ぶ	7月26日(水)午前の部=午前10時～正午、午後の部=午後1時～3時	各抽選20組 小学生とその保護者
⑦ガス管で万華鏡を作ろう 不用になったガス管を使った万華鏡作りと、クリーンパーク茂原施設見学(小学校低学年向き)	7月28日(金)午前10時～11時30分	抽選15組 小学生とその保護者
⑧間伐材でコースターを作ろう 間伐材でのコースター作りと、クリーンパーク茂原施設見学(小学校低学年向き)	7月28日(金)午後1時30分～3時	抽選20組 小学生とその保護者
⑨親子の布ぞうり作り 不用になったバスタオルを裂いて、昔ながらの草履を作る	7月29日(土)午前9時30分～正午	抽選20組 小学4年生以上とその保護者 1足350円(材料費)
⑩星空の魅力 プラネタリウムで春・夏の星座を学び、天体望遠鏡で月・木星・土星を観察	7月29日(土)午後7時～9時	抽選50人

◎緑地保全活動のボランティア募集 グリーントラストうつのみやでは、身近な緑を守り育てていく緑地保全活動のボランティアを募集しています▽活動拠点・日 長岡樹林地(長岡町)=毎月第2・4日曜日、第1～3木曜日。鶴田沼緑地(鶴田町)=毎月第1・3日曜日。戸祭山緑地(山本町)=毎月第1・3・5土曜日。北海道小北樹林地(海道町)=毎月第2・4土曜日▽時間 午前9時～正午▽申込 電話で、グリーントラストうつのみや事務局(緑のまちづくり課内)☎(632)2559へ。

住まい

市営住宅入居者 6月の募集

- ▽受付日時 6月7日まで、午前9時～午後5時。
- ▽受付会場 住宅課（市役所9階）。
- ▽抽選会 6月13日（火）。
- ▽その他 募集住宅や申し込み資格・方法などについて、詳しくは、住宅課や各区・団に置いてある「入居申込案内者募集」「市営住宅入居者募集（原則募集月の前月25日発行。市団からも閲覧可）」をご覧ください。
- ☎住宅課 ☎(632) 2553

スズメバチの巣の 駆除はお早めに



毎年7～9月になると大きくなったスズメバチの巣が発見されます。巣の駆除を専門業者に依頼すると費用が掛かります。大きくなる前に巣を発見することができれば、比較的安全に駆除できます。

▽巣を作りやすい場所 軒

本文中に記載がないものは、原則として、対象外となります。費用は無料。申込不要（定員の記載があり申込の記載がないものも、当日、直接会場へ）。HPはホームページ、Eメールはアドレス、区は地区市民センター、出は出張所、運は生涯学習センター、参はつつのみや表参道スクエア、コは地域コミュニティセンター、活は市民活動センター

蚊の発生を 防止しましょう

- 下、樹木、垣根や植え込みの中、床下、戸袋の中など。
- ▽巣を発見したら 急に近づかない、揺らさない、近くで騒がないように注意。
- ▽その他 本市ではスズメバチの巣の駆除は行っておりません。専門業者にご相談ください。
- 8 ☎生活衛生課 ☎(626) 110

蚊に刺されると、かゆいだけでなく、 Dengue 熱などの感染症にかかることもあります。蚊が媒介する感染症は海外（特に熱帯や亜熱帯）で多く発生しますが、国内での発生報告もあり、普段から注意が必要です。

■蚊が発生しやすい環境をなくす 蚊は、ボウフラ（蚊の幼虫）の発生源となる水たまりがあると発生しやすくなります。次のような場所に不要な水がたまらないよう家の周りを定期的に点検しましょう。

- ▽鉢植えの受け皿。
- ▽雨ざらしのバケツやジョウロ。



篠井ニュータウン分譲中

■現地販売会

- ▽日時 6月25日（日）午前10時～午後3時。
- ▽会場 篠井ニュータウン現地販売センター（下小池町）。
- ▽その他 平屋住宅完成前内覧会もあります。



■つつのみやくらし割引 中学生以下の子どがいる世帯または市外から転入してきた人に、土地売買価格から5パーセントを割引きます。ただし、オーダーカット販売は除きます。

■お薦め区画

金額	区画番号	面積(m ²)	備考
347万円	21-6	230.99	東道路69坪
360万円	18-13	220.85	南道路66坪
558万円	12-9・10	461.10	東北角地139坪
548万円	9-4・5	444.70	東西道路134坪

■商業街区出店支援制度

- ▽商業街区出店支援金 開業資金200万円や、広告宣伝費36万円/年（最大3年）を助成します。
- ▽オーダーカット方式分譲（商業街区） 土地分譲価格＝希望面積×1万1,000円/平方メートル
- ▽その他 出店支援制度の募集条件など、詳しくは、篠井ニュータウン ☎ http://www.shinoi.com をご覧になるか、市土地開発公社 ☎(632) 2174 へお問い合わせください。

1 園芸用パイプハウス

農業用の施設や機械などの 導入費用の一部を補助

- ▽古タイヤ。
- ▽空き缶。
- ▽自転車やオートバイの雨よけシート。
- ▽詰まった雨どい。
- 蚊に刺されないために 蚊の多い場所に行くときは、肌の露出を少なくし、必要に応じて虫よけスプレーなどの忌避剤を使用しましょう。
- 8 ☎生活衛生課 ☎(626) 110
- ▽対象 新設・増設する認定農業者・認定就農者など。
- ▽補助額 認定農業者は対象経費の10分の3以内（上限70万円）。認定就農者は対象経費の10分の5以内（上限30万円）。
- 2 省エネ設備
 - ▽対象 燃油などの使用量削減につながる設備を導入する認定農業者など。
- ▽補助額 対象経費の10分の3以内（上限100万円）。
- 3 直播用田植機など稲作の低コスト化に寄与する機械
 - ▽対象 稲作での生産コスト低減に取り組む認定農業

犬と一緒に 参加して学ぶ 正しい飼育教室

- ▽日時 6月24日（土）。午前10時～11時（ピークラス）と午前11時15分～午後0時15分（成犬クラス）の2回。

◎専門家による害虫無料相談会 ▽日時 6月17日（土）午前10時～午後3時 ▽会場 県庁（埴田1丁目） ▽内容 衛生害虫やネズミに関する専門家による無料相談会やスズメバチの巣などの展示。☎生活衛生課 ☎(626) 1108、衛生害虫防除等相談室（県ペストコントロール協会） ☎(625) 0606

交通ルールを守り 交通事故をなくしましょう

■6月は暴走族等根絶推進強化月間 暴走行為などの悪質で危険性・迷惑性の高い交通違反は、重大な事故につながる恐れがあります。家庭・地域・学校・職場で連携し、暴走族を根絶するため、次のことを徹底しましょう。

- ▽暴走族には加入しない、させない。
- ▽暴走族をやめる、やめさせる。
- ▽暴走行為をしない、許さない。
- ▽暴走族を見に行かない、行かせない。



■踏切事故防止 踏切事故は多数の死傷者が出るなど、甚大な被害をもたらします。次のことを守り、踏切事故を防止しましょう。

- ▽踏切前で一時停止し、自分の目と耳で安全確認をする。
- ▽警報機が鳴り始めたら踏切内に入らない。
- ▽踏切の向こう側に車が詰まっているときは、警報機が鳴っていなくても踏切内に進入しない。
- ▽遮断機のない踏切では、踏切内に入らないよう停止位置に注意する。

■踏切内でトラブルに遭ったら もし踏切内に閉じ込められたら、そのまま車をゆっくり進めてください。遮断棒は折れずに斜め上に上がり、脱出できます。また、もし踏切内で車が動かなくなったら、次のように対処しましょう。

- ▽非常ボタンが設置してある場合は、速やかにボタンを押し、踏切がふさがれていることを駅や列車に知らせる。
- ▽非常ボタンが設置されていない場合は、自動車に備え付けの発煙筒を使い知らせる。
- ▽非常ボタンや発煙筒を使用した後でも安心せず、踏切内から出て、安全な場所で待避する。
- ▽踏切内に閉じ込められた人や車を見つけた時は、周囲の人が非常ボタンを押し。

☎生活安心課 ☎(632) 2264

7 住宅地などの農業散布の環境保全課 ☎(632) 2420、農業に関する農業散布農林生産流通課 ☎(632) 2446

住宅地などの農業散布の環境保全課 ☎(632) 2420、農業に関する農業散布農林生産流通課 ☎(632) 2446

- ▽会場 保健所(竹林町)。
- ▽内容 佐々木美奈さん(獣医師)による正しい犬の飼い方教室。
- ▽対象 市内在住の犬の飼い主とその飼養犬。これから飼う予定の人や飼い主のみの見学可。
- ▽定員 各先着10組。
- ▽申込 6月5〜23日に、電話またはEメール(住所・氏名・電話番号を明記)で、生活衛生課 ☎(626) 1108、☎019070200 @city.utsumomiya.tochigi.jp。

安心安全

消防団員が日ごろの訓練成果を披露 消防操法大会

■日時 6月3日(土)午前7時30分。雨天時は6月4日。

■会場 屋根運動場(屋根町)。

部門・出場分団

▽ポンプ車の部 第1分団
第11分団・雀宮1部・上河内6部・河内東5部・河内西9部。



▽小型ポンプの部 平石11部・清原5部・横川6部・瑞穂野5部・富屋5部・国本8部・豊郷2部・篠井3部・城山10部・雀宮10部・姿川5部・上河内5部・河内東2部・13部・河内西1部・2部。

☎消防局警防課 ☎(625) 3007

あなたなら無事故の着地
決められる 6月4〜10日は
危険物安全週間

ガソリン・灯油類をはじめとする危険物は、事業所などに幅広く利用され、私たちの生活にも深く浸透しているため、安全確保が重要です。

■危険物施設で消防訓練を行います

▽日時 6月8日(木)午後2時〜。

住宅地などでの 農薬の飛散防止

住宅地などに近接する土地などの管理に当たっては、農薬の飛散による周辺住民などへの影響を防止するため、できるだけ農薬を使用しないよう心掛けましょう。やむを得ず農薬を散布するときは、定められた用法・用量を厳守するとともに、飛散防止策を取るなど、十分な配慮をしましょう。また、事前に、周囲に住んでいる人へ、農薬を散布する日時などを周知しましょう。

7 住宅地での農業散布の環境保全課 ☎(632) 2420、農業に関する農業散布農林生産流通課 ☎(632) 2446

☎消防局予防課 ☎(625) 5507

▽会場 関東自動車宇都宮営業所(砥上町)。

▽内容 危険物施設(自家用給油取扱所)からの火災を想定した消防訓練。

▽その他 当日は消防隊が訓練のためサイレンを鳴らします。

◎貯水槽水道の適正管理を 貯水槽水道は法令や条例に基づき、適正な管理が求められます。■簡易専用水道(受水槽の有効容量が10立方メートル超)の管理基準 ▽受水槽の清掃(年1回) ▽検査機関による検査、受水槽の点検(年1回) ▽水槽やマンホールなどの点検(月1回) ▽残留塩素の確認(週1回) ▽水の色、濁り、臭い、味の確認(毎日) ▽詳しくは、生活衛生課 ☎(626) 1108 へ。■小規模貯水槽水道(受水槽の有効容量が10立方メートル以下)の管理基準 詳しくは、上下水道局工事受付センター ☎(633) 3164 へ。